

イベントの情報があれば、このスペースをご利用下さい

スター・ウィークのテーマソングは「COSMOS」

星空を歌う音楽ユニット・アクアマリンの、夏の星空によく似合う素敵な歌。
詳しくはアクアマリンのサイトへどうぞ！ <https://aquamari.com/>

スター・ウィーク掲示板「今、星をみえています・今、天文台にいます」

スター・ウィークの7日間、どこかでみなさんと同じように星空を
星空を見上げている人が、きっといるはず。そんな「誰か」と
つながってみませんか？



施設・団体名を入れて
イベントなどでお配り下さい

((C)copyright 1995-2023, StarWeek Project)

-この星空、ひとりで見るにはもったいない。-

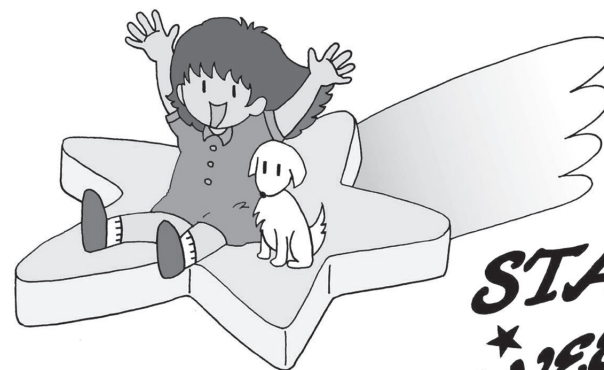
スター・ウィーク

～星空に親しむ週間～

8月1日～7日

スター・ウィークとは・・・

バード・ウィーク(愛鳥週間)があるのなら、
「スター・ウィーク」があってもいいな...
子どもも大人も、だれもが気軽に星空を
見上げてほしい、そんな思いから始まった
星空に親しむ週間です。



**STAR
★
WEEK**
Aug.
1st-7th

主催:スター・ウィーク実行委員会
後援:自然科学研究機構 国立天文台・(公財)天文学振興財団
協力:PAONavi準備会議、日本プラネタリウム協議会
日本公開天文台協会
<http://starweek.jp/>
～2023年版～

★自分の目でみつけてみよう★

☆織姫星・彦星(おりひめぼし・ひこぼし)

頭の上を見上げると、明るい星が3つ、ベガとデネブとアルタイルで「夏の大三角」と呼ばれている、大きな三角形ができます。その中の「こと座のベガ」が織姫星「わし座のアルタイル」が彦星です。空の暗いところなら、七夕のお話のとおり、2つの星の間に天の川が見えます。

☆天の川(あまのがわ)

月明かりの少ないころ、街をはなれて空の暗いところに行くと、天の川が見えることがあります。ぼんやりとした、細長い雲のように見えますが、その正体は、たくさんの星の集まりです。

☆流れ星(ながれぼし)

毎年8月中旬ごろは、流れ星がよく見られます。「ペルセウス座流星群(りゅうせいぐん)」と呼ばれます。2023年は、13日と14日に日付が替わってから明け方まで、流れ星に出会えるチャンスです。月明かりも少ないのでおすすめです。流れ星は、空のどの方角にも現れるので見晴らしの良い方向を向いて、のんびり待ってみてください。

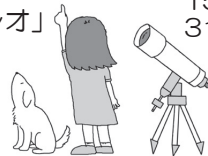
～惑星を見よう!～

今年のスター・ウィークの時期は、南東の空低くに土星が見えます。望遠鏡があれば、おなじみの環のある姿を見ることができます。少し夜更かしすると、より見やすくなります。

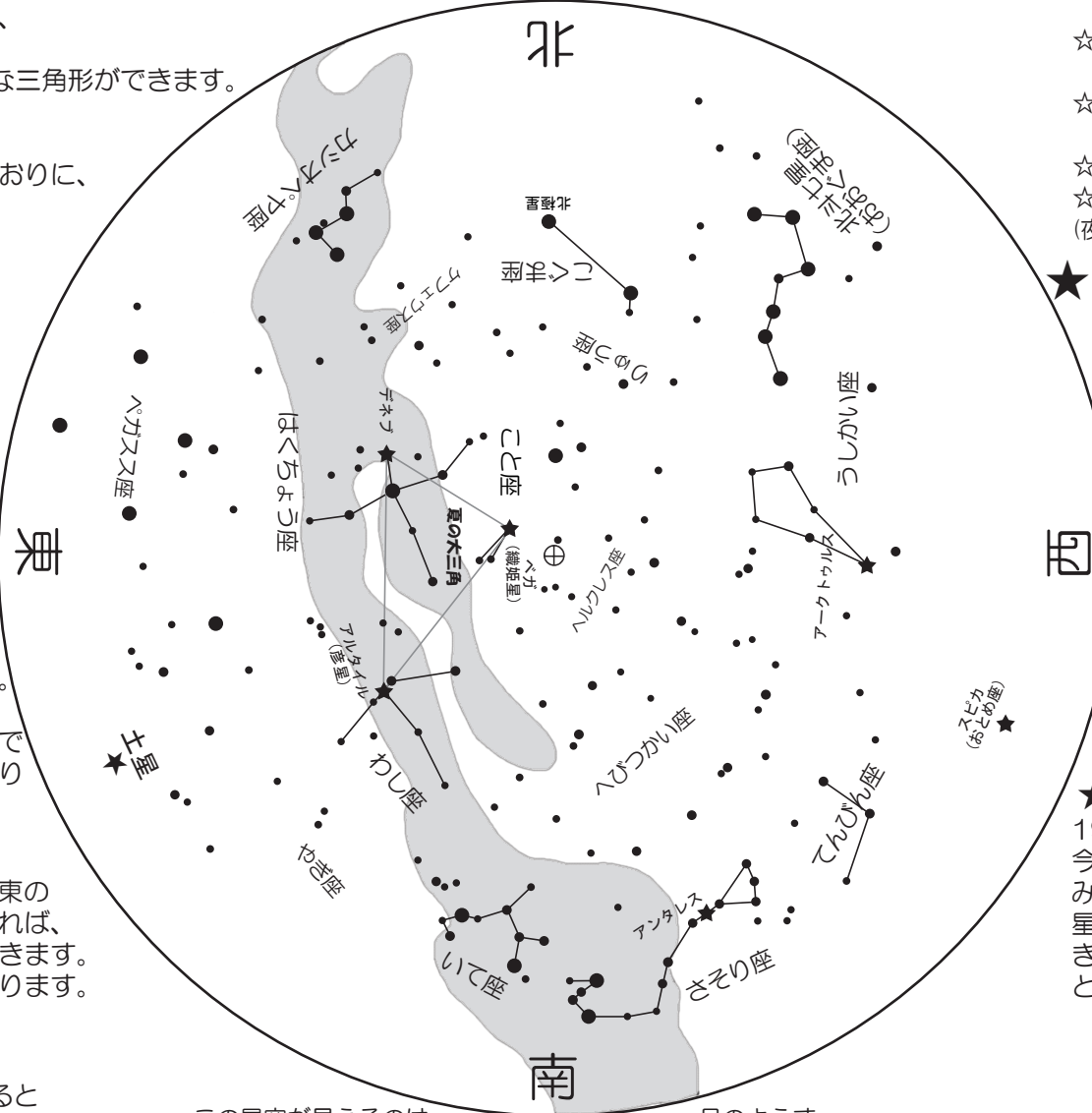
～二重星(にじゅうせい)～

目で見ると1つの星なのに、望遠鏡で見ると2つ星が見える、そんな「二重星」と呼ばれる星が、たくさんあります。特におすすめは、はくちょう座のくちばしの所にある「アルビレオ」という星です。青と黄色の星が見えます。

★双眼鏡や望遠鏡を使ってさがそう★



8月の星空



～この星空が見えるのは～
8月1日夜9時ごろ
15日夜8時ごろ
31日夜7時ごろ

～月のようす～
8月 2日 満月 8月 8日 下弦
8月 16日 新月 8月 24日 上弦
8月 31日 満月

★この図のみかた★

⊕印のついているところが頭の真上です。見たい方角を向いて、その見たい方角の字が正しく見えるように手前に回して空と見くらべてみてください。

★星を見に行く時の持ち物★

- ☆星の場所を知るために
→このリーフレットや星座早見盤
- ☆夜は暗い! 足元は大丈夫? →懐中電灯
(赤いセロファンで光を弱くしてね)
- ☆寝転がって見よう →マット
(安全なところに寝転がってね)
- ☆夏でも夜は寒い →あたたかい服
- ☆その他 →虫よけ、時計、などなど
(夜でかける時は、必ずおとなの人といっしょに!)

★伝統的七夕を楽しもう★

7月7日の七夕は梅雨のくもり空で、なかなか星が見えませんか。実は、江戸時代まで使われていたカレンダーは、現在のものと仕組みがちがひ、日付も1か月ほどずれがあります。昔のカレンダーでの7月7日(伝統的七夕)は、今年は8月22日です。月遅れの七夕(8月7日)も入れると、あと2回七夕を楽しめます。部屋や身の回りの明かりを消して、普段より暗くなった夜空で、昔の人たちの気持ちになって、七夕を楽しんでみませんか?

★スター・ウィークは29回目★

1995年からはじまったスター・ウィークは今年で29回目になりました。みなさんが気軽に星空を見上げるきっかけになったら、とてもうれしいです。



2023年のキャッチコピーは「この星空、ひとりで見るにはもったいない。」

埼玉県嶋田さんの作品が選ばれました。「素敵な星空に出会えたとき、私はこの空を、他の誰かにも観て欲しいという思いに駆られます。星空を見上げる時間を、空間を、思いを、ついシェアしたくなる。そんな期間になればと思います。」というメッセージを頂きました。スター・ウィークの間は、みなさんが見上げた星空のこと、ぜひ誰かに伝えてみてください。